

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 原 昌広さん（二戸市）

取材担当 二戸農業改良普及センター 鹿糠 美雪

二戸市石切所で平成31年に就農した原昌広さんを紹介します。

原さんは、他産業に従事していましたが「自宅周辺の農業者が徐々に減少する様子を目にする中で、自分が就農し地域の休耕畑を少なくしていきたい」との思いで就農を決意しました。

現在はりんご60a、ピーマン10aの栽培に取り組んでいますが、両品目の生産は、作業時期や防除時期が重複してしまうことが多く、所有している機械だけではピーマン防除とりんごの摘花剤・摘果剤処理などを行うことは困難でした。

そのため、「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、新たにマルチスプレイヤーを導入でき、ピーマン専用機とすることで、効率的な防除作業が可能となりました。

防除効率が上がったため、そのほかの様々な作業へ時間を割けるようになり、適期かん水や誘引作業、葉摘み作業などを行うことができ、猛暑だったにもかかわらず品質が向上したそうです。

将来の目標として「地域の農業リーダーとなり地域を盛り上げ、自分の生活も充実させたい」と考えているとのこと。今後のますますの活躍が期待されます。



<導入したマルチスプレイヤー>